

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	第1回 中央北産業遺産あり方検討委員会		
事務局 (担当課)	中央北整備部 中央北推進室 地区整備課		
開催日時	平成24年5月25日(金) 9時30分～12時20分		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員 (敬称略)	山崎、今西、澁野、水島、金田、西田(河合)、畠中、杉岡、酒本、 枘川、松下	
	事務局	西川、林谷	
		山本、西村(株地域計画建築研究所)	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 委員紹介 3. 「中央北産業遺産あり方検討委員会」設置の主旨 4. 会長及び副会長の選出・あいさつ 5. 事業の経緯目的と現況等、全体スケジュールについて 6. 意見交換		
会議結果	別紙の通り		

第1回中央北産業遺産あり方検討委員会 要旨録

火打前処理場の歴史をどのように伝えるのかに関する意見

- ・ バルブのハンドルなどを遊具に転用することも考えられる。
- ・ 水槽のタンクなどもペイントしてランドマーク的に活用できると思う。
- ・ 建物としてではなく部分的に何かを残すという検討は十分できると思う。
- ・ パイプの部分などは非常に興味深く、想像を掻き立てるものがあり、構成美も感じられる。夜景のライトアップなど工夫できるところもある。
- ・ 土地利用計画案のなかに中央公園の基本的考え方として、「平常時における市民の健康増進、スポーツ参加を前提とする」と記載されている。この考えをある程度尊重するなら機能を優先すべきかもしれない。
- ・ ここにこういうものがあつた等、記憶を喚起するものとして、特徴的なモニュメントのようなものがあつてもいいのではないかと思う。
- ・ 建物があつたということを残すのであれば、配置図を影で落としたようにし、航空写真で見るとその当時の建物が浮かび上がってくるということも考えられると思う。
- ・ (今日見学したような) 汚染水が処理される過程を映像に残しておいてもいいと思う。
- ・ 建物として残すのではなく、ここにこういうものがあつたことが分かればいいのではないか。
- ・ 新しくつくりかえていくことがいいことのように思われがちであるが、少し行き過ぎのように感じる。
- ・ 次の世代に何かを伝える必要があると思う。
- ・ 何かを残すことが前提になっているが、本当に残す必要があるのかを考える必要がある。
- ・ 実際、地域から好まれた産業ではなかった気がする。残すにしても建物として残す必要はなく、綺麗にしてほしい。

次回までの前提条件等の整理

想定されるパターンの整理

別紙資料とどのように残すのかの議論のネタとなる事例の紹介資料を提示する

- ・ どのようなモニュメントとして、何を残すのか。
- ・ どのような遊具として、何を残すのか。
- ・ どのような記録 VTR、イベントにして、何を伝えるのか。

使える部材等の汚染関係の整理

汚染水の流れのパンフレットをもとに、機械、部材の写真を整理する

次回は、7月2日(月)午後2時からを予定している。